



念願の車椅子を購入！大崎小学校児童会

大崎小学校は、空き缶のプルタブを集めた益金で車椅子1台を購入し、3月4日（火）に特別養護老人ホーム回生園へ寄贈しました。

同校では、児童会が中心となってプルタブを集めていましたが、平成24年度から『車椅子を購入する』という目的を設定したことで、児童だけではなく、保護者・地域の方々の協力もあり、念願の車椅子を購入することができました。集めたプルタブはなんと500kgだそうです。

児童代表の坂滉太くん（6年生）は、「みんなで集めたプルタブで車椅子を買うことができうれしい。体の不自由な人を元気にしてあげてほしい。」と話しました。



▲大崎小児童会から車椅子1台が寄贈されました



二人が始めて出会った場所で！照日神社で結婚式！

3月7日（金）、町内野方の照日神社において、16年振りに結婚式が行われました。

照日神社は『縁結びの神様』として昔から地域に親しまれている場所で、今回新郎新婦が初めて出会った場所、そして思い出のあるこの神社で結婚式をしたいという思いから行われたものです。

式では、ふたりの仲睦まじい新生活や、両家の末永いご多幸などが祈念されました。

新郎新婦には、神社敷地内にある、『夫婦杉』のように仲良く寄り添い、お二人の未来が素晴らしいものになりますようにお祈りいたします。



▲16年振りに結婚式が行われました



210kgのプルタブで車椅子を購入！

大崎第一中学校は、空き缶のプルタブを集めた益金で車椅子1台を購入し、町社会福祉協議会へ寄贈しました。

同校でのプルタブ収集活動では、昨年の3月に1台寄贈しており、その後も野方小学校と連携し、野方地域を中心に活動を続けた結果、約1年をかけ210kgを集めました。

3月17日（月）の寄贈式には、同校生徒代表のほか、野方小学校の児童も出席。生徒会長の村永崇征くんが、「みんなでプルタブを集め車椅子を購入できたので、大切に使ってほしい。」と話しました。



▲車椅子を囲む大崎第一中の生徒と野方小児童